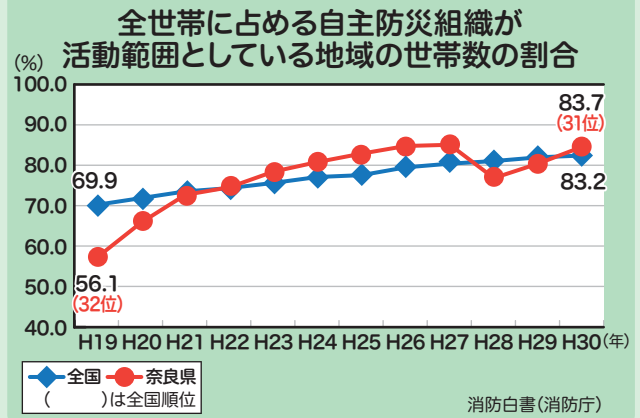
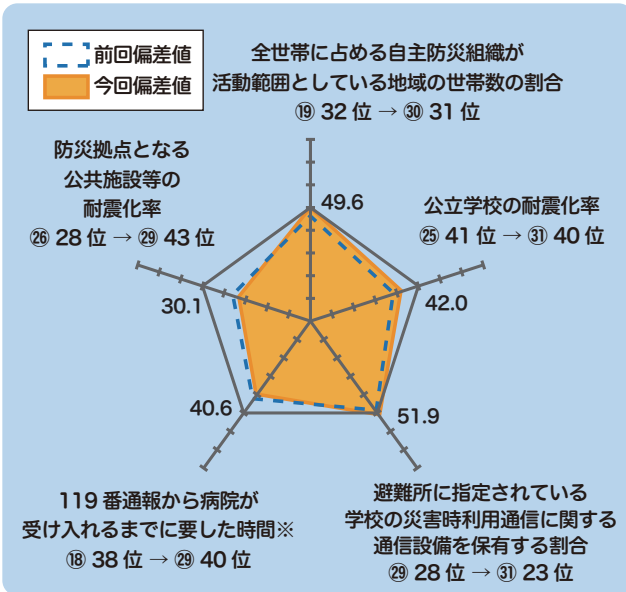
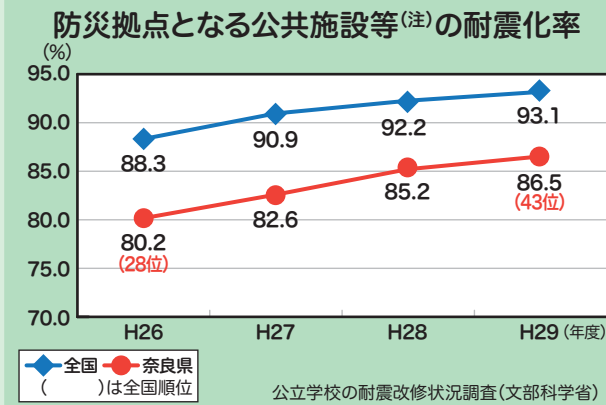




## 6. 「安全安心な地域」づくり

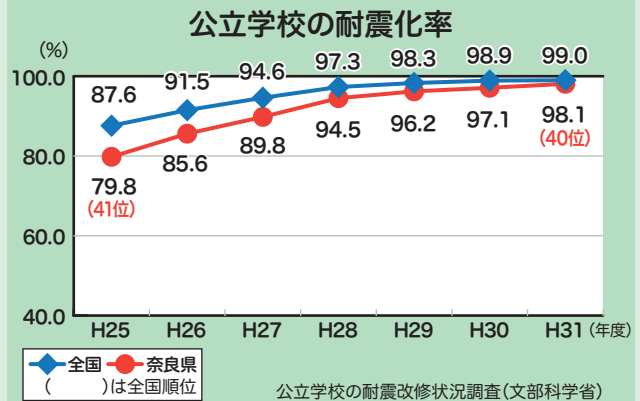


全世帯に占める自主防災組織が活動範囲としている地域の世帯数の割合は、平成28年に低下したものの、その後は上昇しており、平成30年に全国平均を上回りました。

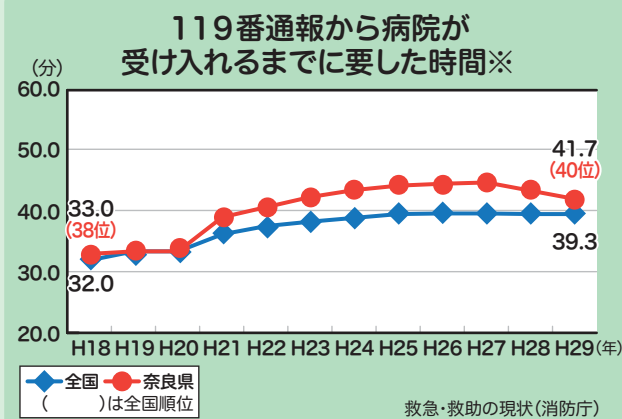


(注)防災拠点となる公共施設等…災害応急対策の実施拠点となる庁舎や消防署、避難場所・避難所となる学校施設や公民館、災害時の医療拠点となる病院や診療所、災害時に配慮が必要となる社会福祉施設等

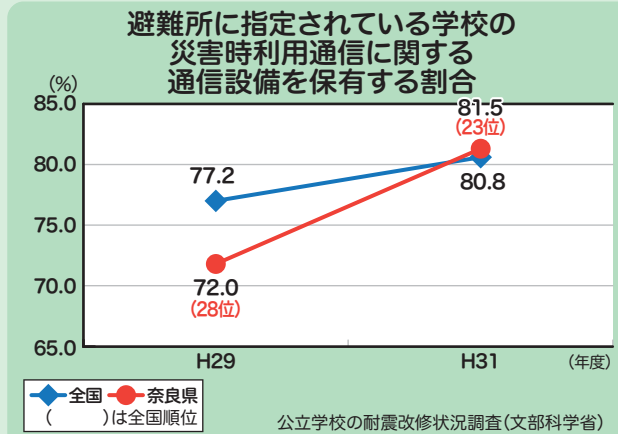
災害時に防災拠点となる公共施設等の耐震化率は、順調に伸びているものの、全国平均を下回っています。



公立学校(小中学校、高等学校、特別支援学校、幼稚園)の耐震化率は、順調に伸びているものの、全国平均を若干下回っています。



119番通報から病院が受け入れるまでに要した時間の平均は、平成27年より早まっているものの、全国平均より若干遅くなっています。



避難所に指定されている学校の災害時利用通信に関する通信設備を保有する割合は、この2年間で順調に伸びており、全国平均を上回っています。

※は数値が低い方が良くなる指標です。



## (36) 大規模広域防災拠点の整備

### これまでは

- ・奈良はこれまで大きな自然災害がなかったことから、防災対策が充分でない面がありました。
- ・東日本大震災の時、内陸の山形空港(滑走路2,000m)が大活躍したことから、五條市に防災拠点を設置する検討を始めました。

### もっと良くするために

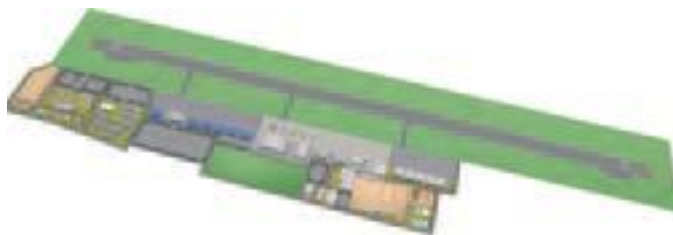
南海トラフ巨大地震等が発生した際、県内外からの大量の人的・物的支援を受け入れ、被災地を迅速に支援できる大規模広域防災拠点(2,000m滑走路付)を五條市に整備します。整備は以下の3点を踏まえて行います。

- ① 防災拠点整地におけるリニア中央新幹線等の排出土砂の利用
- ② 消防学校の併設
- ③ 防災拠点を通り、京奈和自動車道と国道168号を結ぶ高規格の道路整備

### 目指す姿

五條市に大規模広域防災拠点(2,000m滑走路付)を整備します。整備効果の早期発現を目的に、造成方法や機能等を考慮し、段階的な整備方法を検討します。

奈良県はこれまで大きな自然災害がなかったから防災対策が充分ではなかったんだね。



大規模広域防災拠点の整備イメージ

東日本大震災等も教訓に、五條市に大規模広域防災拠点が整備されるようです。整備途中でも防災拠点の効果が現れるように、整備方法も工夫もされるそうです。



### 主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
整備構想検討	整備構想検討		
設計		造成設計、進入路設計	
各種調査 (地形測量、地質調査等)		地形測量、地質調査、環境調査、用地調査	
各種協議等		関係機関協議、事業説明	



## (37) 消防学校教育の充実、県内消防組織への支援

### これまでは

全国に先駆けた全県的消防広域化を実現し、全国的にも注目されました。

高機能消防指令センターの整備、高規格救急車の一括購入等広域化によるコスト削減効果約39億円



奈良県広域消防組合  
消防本部通信指令センター(橿原市)

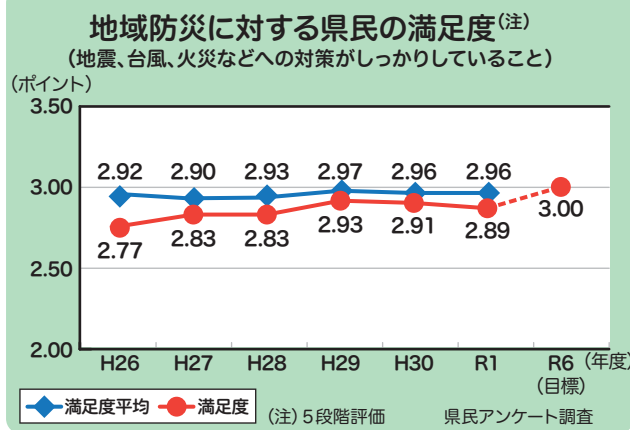
### もっと良くするために

- ・各消防本部と協力して、消防学校における教育の充実、消防学校の運営を行います。
- ・県内消防組織で必要な支援を実施します。

### 目指す姿

令和6年度までに地域防災に対する県民の満足度(地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること)を3.00ポイントにします。

県民が安心して快適に暮らし続けられるようにするためには、地域の防災力や消防救急体制を充実させることが大事だね。



そうですね。だから消防学校で優れた消防職員を育成し、県内の消防力を強化するため、各消防本部と連携し、しっかりと必要な支援をしていきます。



### 主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
消防学校教育の充実	高い災害対応能力・高度で専門的な知識を備えた消防職員・団員を育成		
消防の支援	県内消防組織で必要な支援を実施		
救急搬送の改善	救急搬送時間の短縮に向けた取組を実施		



## (38) 大和川直轄遊水地と流域内水遊水地の整備

### これまで

#### ■ 各地で洪水被害が頻繁に発生しており、奈良県も洪水対策が必要です。

- 国は大和川の洪水を一時的に貯留する100万m<sup>3</sup>の遊水地を整備します。(用地の協力が必要です)
- 大和川流域における総合治水の推進に関する条例を制定しました。
- 「奈良県平成緊急内水対策事業」を推進します。
  - ・平成30年5月にキックオフし、適地候補地の選定を終え、令和元年10月には田原本町で最初の内水対策工事の起工式を行いました。



### もっと良くするために

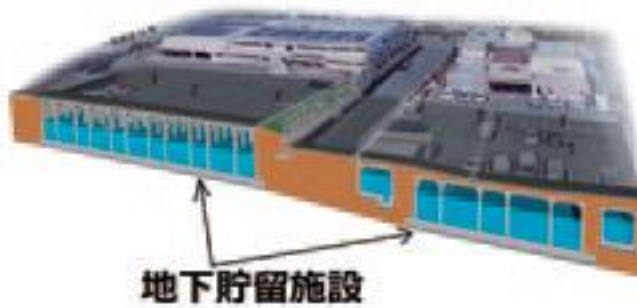
#### ■ 大和川の洪水対策を進めます。100年に1度の大雨(最近頻繁に起こっています)にも耐えられることを目標にグレードアップ対策を検討します。

- 大和川流域の直轄遊水地を整備し(窪田地区、保田地区)、大和川、佐保川の改修にも取りかかります(藤井地区、長安寺地区)。
- 内水による床上・床下浸水被害解消に取り組む市町に助成します。
- 河道掘削、堤防補強を実施します。

### 目指す姿

内水による床上・床下浸水被害の解消を目指します。

平成29年10月の台風21号において、県内で大規模な内水被害が発生したんだね。



地下貯留施設

奈良県平成緊急内水対策事業  
雨水貯留施設完成予想図(田原本町施工)

県は、内水による床上・床下浸水被害解消に取り組む市町に助成し、内水対策を推進しているんだ。



### 主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
大和川直轄遊水地等の整備	遊水地等の整備の促進		
奈良県平成緊急内水対策事業の推進	市町村と連携して内水貯留施設等の整備を推進		
河道掘削、堤防補強	河道掘削、堤防補強の実施		



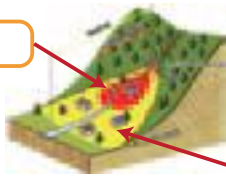
# (39) 土砂災害対策の推進

## これまでは

土砂災害防止法に基づく土砂災害特別警戒区域(レッド区域)の指定推進を図りました。

「奈良県土砂災害対策基本方針」に基づく土砂災害対策抑止力の強化を図りました。

特別警戒区域



区域指定のイメージ

警戒区域

- ・ 崩落やその兆候が見られる箇所の対策強化
- ・ 24時間利用の要配慮者の利用施設及び代替性のない避難所の対策強化

## もっと良くするために

「奈良県土砂災害対策施設整備計画」をもとに、「選択と集中」により、真に必要な箇所・範囲で、ソフト対策と一体となったハード対策を推進します。

- ・ レッド区域内における、24時間利用の要配慮者利用施設の保全や、代替性のない避難所の安全確保
- ・ アンカールートの強靱化
- ・ 現行基準に適合しない老朽化堰堤の保全 など

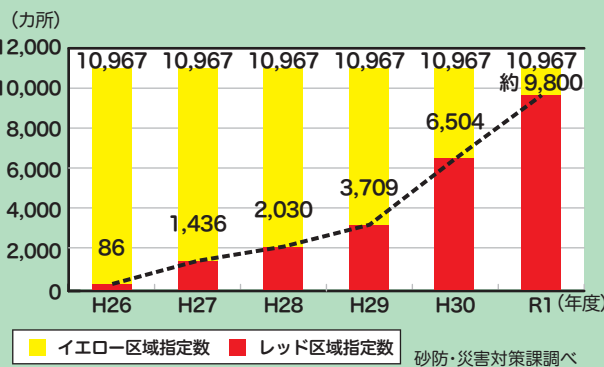
## 目指す姿

『奈良県土砂災害対策施設整備計画』に基づき、土砂災害対策を推進します。

奈良県内には土砂災害が発生するおそれのある危険な箇所が、およそ9,800カ所もあるんだって!



### 土砂災害特別警戒区域(レッド区域)の指定状況



「奈良県土砂災害対策施設整備計画」に基づいて、土砂災害に強い安心安全な地域づくりを推進しているんです。



### 主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
24時間利用の要配慮者利用施設等の保全	補助砂防事業、単独自然災害防止事業の実施等		
アンカールートの強靱化	補助砂防事業の実施等		
老朽化堰堤の保全	補助砂防事業、緊急自然災害防止事業の実施等		





## (40) 奈良県緊急防災大綱の推進 (41) 災害時の避難所整備と運営の改善

### これまでは

- ・他地域の災害に学び、平成31年4月に「奈良県緊急防災大綱」を策定しました。
- ・市町村が避難所の適切かつ円滑な設置や運営を図ることを目的に「奈良県避難所マニュアル」を策定し、これをモデルとして、市町村に対して独自のマニュアル策定を働きかけてきました。(県内25市町村で策定(R1年12月時点))

### もっと良くするために

- 避難行動・避難生活** ・「自らの命は自らが守る」住民避難行動の実現、地域の災害リスクの周知徹底
- 防災拠点・ハード対策** ・大規模広域防災拠点の整備を推進  
・「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」を活用した計画的・重点的な防災対策の推進
- 避難所の環境改善** ・避難所での良好な生活環境等の確保、安定的な運営維持のため、設備の充実や物資・資機材の備蓄等の推進  
・避難所に指定されている県立学校の環境整備  
・災害派遣福祉チーム(DWAT)の充実強化

### 目指す姿

奈良県で災害が起きても、**犠牲者を出さない**ようにします。

最近、毎年のように全国各地で災害が起きているけれど、奈良県では十分に備えができているのかな？



幼稚園での奈良県いっせい地震行動訓練(奈良市)

水害や土砂災害の被害をできるだけ少なくするよう、様々な対策が進められています。でも、災害から身を守るためには、私たち自身も家族や地域で話しあったり、訓練に参加したりするなど、備えをしておくことが大切ですね。

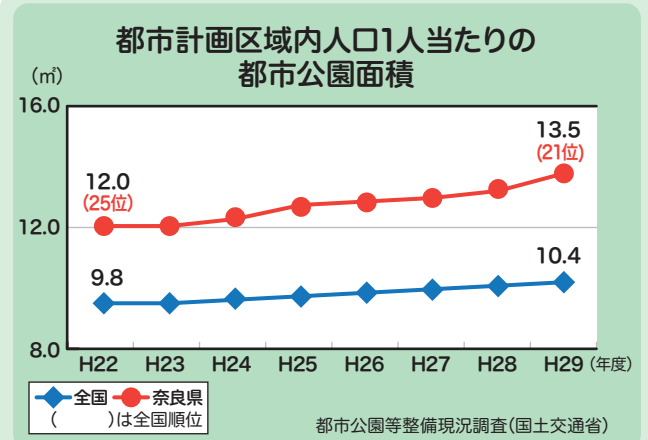
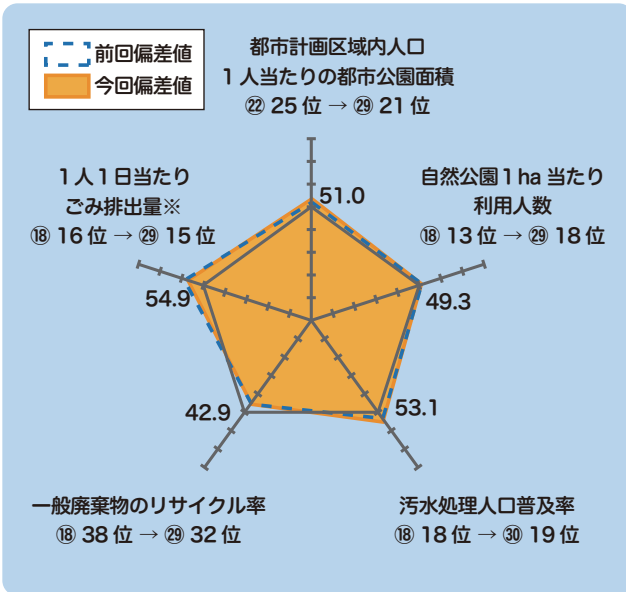


### 主な取組

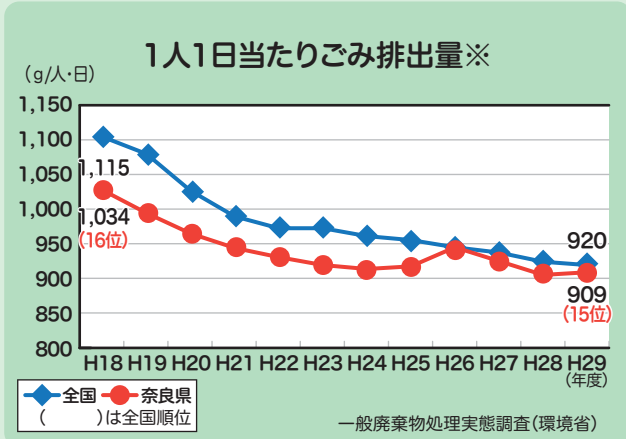
取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
市町村国土強靱化地域計画策定支援	県・市町村が連携し策定を推進	県・市町村が連携し計画に基づく取組を推進	
住宅・建築物の耐震化施策の推進	住宅・建築物の耐震化施策の推進		
避難所における生活環境の整備	防災備蓄倉庫・簡易トイレの整備	避難所生活のために必要な設備を順次整備	
避難所に指定されている県立学校の環境整備	県立学校体育館へのWi-Fi設置・体育館等への多目的トイレ設置		



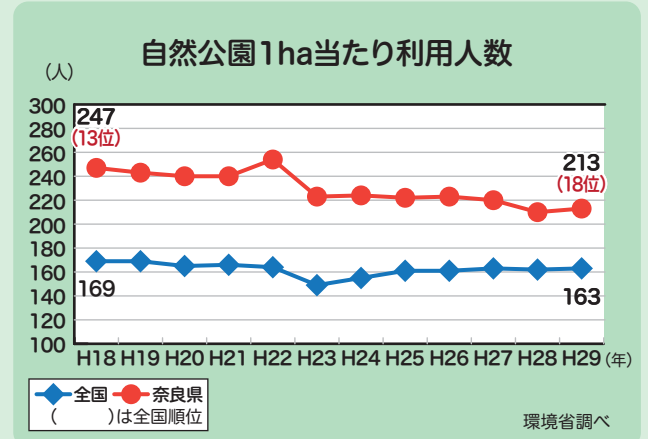
## 7. 「きれいな奈良県」づくり



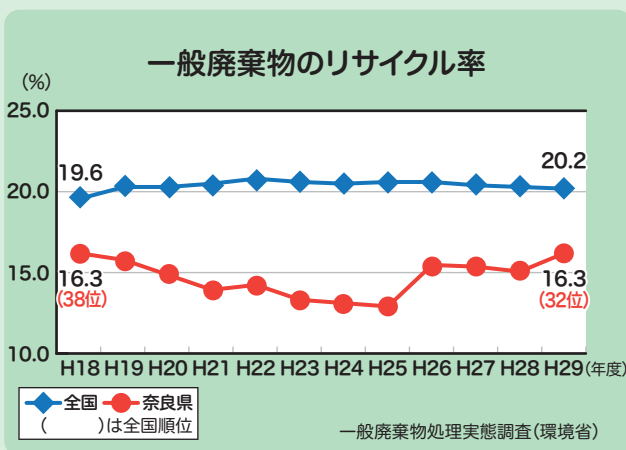
都市計画区域内人口1人当たりの都市公園面積は順調に増加しており、全国平均を上回っています。



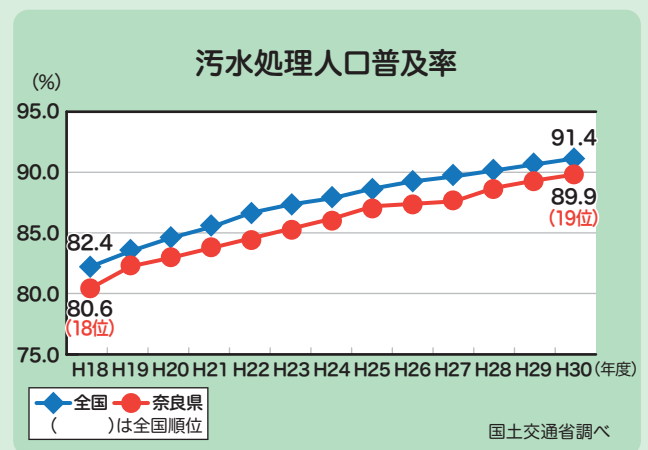
平成29年度の1人1日当たりごみ排出量は909gで、前年度から0.4%増加しましたが、過去10年間では6.1%の減少傾向にあり、全国平均と同程度となっています。



自然公園1ha当たり利用人数は、200人から250人の間で推移しており、全国平均を上回っています。



一般廃棄物のリサイクル率は、平成26年度以降上昇傾向にあるものの、全国平均よりも低くなっています。



下水道整備及び合併処理浄化槽設置促進により、污水处理人口普及率は着実に上昇しています。

※は数値が低い方が良くなる指標です。



## (42) なら四季彩の庭づくりの推進

### これまでは

「奈良県を『一つの庭』と見立てた、四季折々の彩りを愉しむ庭づくり」を理念として、なら四季彩の庭づくりを推進してきました。

#### 作庭方針

- 調和のとれた「一つの庭づくり」…小庭(エリア)を整えつつ、全体調和に配慮
- 地域の景観資産を活かした庭づくり…水辺、田園、森林・山岳、歴史文化遺産等
- 四季折々の彩りの庭づくり…四季を感じさせる植物種の選択等
- 人が楽しむ庭づくり…見る、くつろぐ、歩く、感じる、遊ぶ、体を動かす等
- 庭づくりを続けるために…様々な主体による連携・協働

#### 小庭(エリア)整備計画

- 県内の主要な名所やその周辺等で「小庭(エリア)」を選定(現在60箇所)
- 全小庭(エリア)で「整備方針図」を作成
- 具体化が進むと作庭処方図を作成(現在264箇所)

### もっと良くするために

「(仮称)なら四季彩の庭づくり条例」を令和2年に制定し、庭づくりを体系的・継続的事業として推進します。

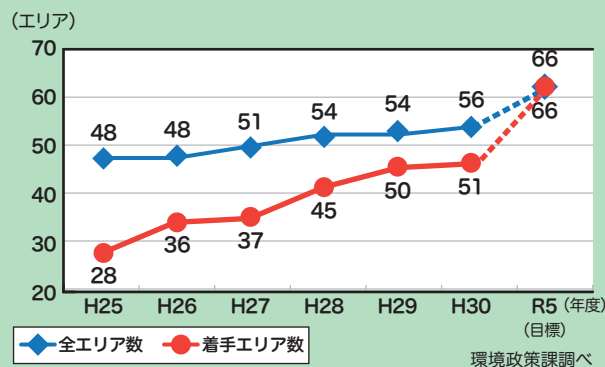
### 目指す姿

**令和5年度までに奈良県植栽計画のエリア数を66エリアに増やし、全エリアにおいて事業着手します。**

奈良県植栽計画(「なら四季彩の庭づくり」)が平成25年度に策定されてから、選定されたエリアが増えているね。奈良らしいきれいな植栽景観をつくろうとする取組が、県全体に広がっているんだね。



奈良県植栽計画のエリア数・着手エリア数(累計)



住む人も訪れる人も楽しめる植栽景観をつくるため、全てのエリアでの事業着手を目指して、市町村や住民等との協働を進めます。ふるさとの景観づくりの主役は私たち一人です。



### 主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
奈良県植栽計画(「なら四季彩の庭」づくり)の推進	新規エリア等の検討・計画、事業推進、好事例集の作成、市町村・住民等との協働スキームの構築・推進		
	植栽等による景観の向上に取り組む市町村等に対し技術・財政支援		
普及・啓発	シンボルマークプレートの設置、ジャーナルの発行、ホームページの運営		





# (43) 大和川のきれい化

## これまでは

市町村と連携し、地域住民等の主体的な参加・協力を得ながら、大和川の水質改善、きれいな水辺空間づくりを進めてきています。

大和川の水質は、下水道の整備等により環境基準(BOD値5.0mg/L)を達成し、改善傾向(BOD値<sup>①</sup>4.7mg/L→<sup>③</sup>2.2mg/L)にあるものの、他府県の河川に比べて低位にあります。大和川支川を含めると、これまで環境基準を達成出来てなかった地点もあります。また、河川にゴミが散乱し、水辺景観を損なっているところもあります。

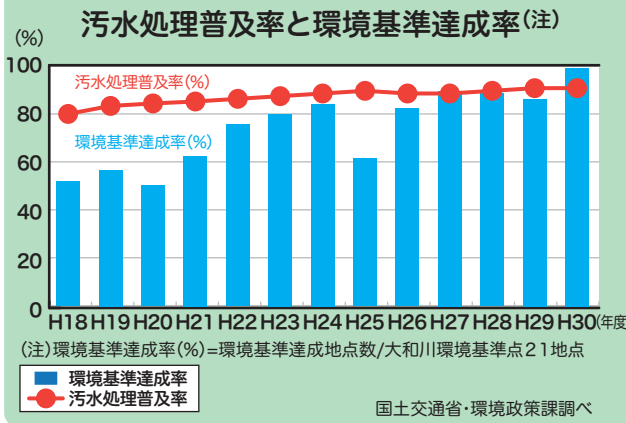
## もっと良くするために

地域の人々と協働して、奈良県の中心部を流れる母なる川「大和川」できれいに暮らす奈良県スタイルを推進します。

### 目指す姿

**平成30年度以降は大和川(支川含む)の水質BODにかかる環境基準達成率100%を維持します。**

下水道、農業集落排水施設、浄化槽等の污水处理施設を利用できる人の割合は年々上昇しているんだ。



生活排水はきれいに処理されてから放流されるから大和川がきれいになります！  
みんなで協力して川の清掃も頑張りましょう！



### 主な取組

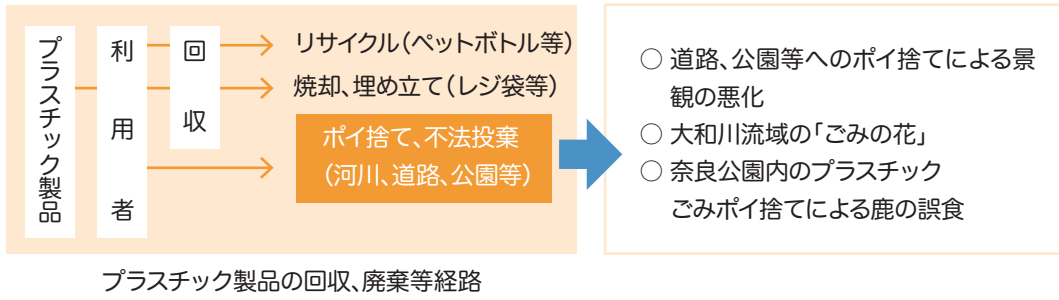
取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
きれいに暮らす奈良県スタイルの推進	ジャーナル等の発刊による啓発 重点対策支川を対象に戸別訪問や出前講座等による啓発(市町村連携)		
合併浄化槽への転換促進、下水道への接続促進	合併浄化槽転換(市町村補助)・下水道早期接続啓発活動支援(市町村補助)		
大和川の水質改善	導水水量の確保により河川環境を改善		
地元自治会等が行う活動を支援(地域の河川サポート事業)	参加団体の増加に向けた働きかけ、PR活動等を実施		



# (44) プラスチックごみの削減

## これまでは

海洋プラスチックごみが地球規模で社会問題化しています。



大和川流域

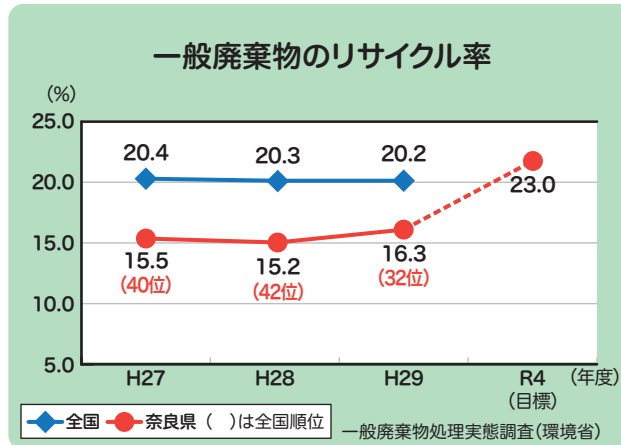
## もっと良くするために

- プラスチックごみの実態の周知・啓発、事業者への指導・広報の強化を新たに進めます。
- これまで取り組んできた廃棄物の不法投棄、不適正処理の撲滅、排出抑制の促進、循環的利用の促進を引き続き実施します。
  - ・「きれいに暮らす奈良県スタイル」を推進し、循環型社会の実現を目指します。
  - ・大和川一斉清掃、吉野川マナーアップキャンペーンを継続して実施します。
  - ・奈良のシカ保護の啓発活動を実施します。

## 目指す姿

令和4年度までに一般廃棄物の県全体のリサイクル率を23.0%にします。

プラスチックごみも、きちんと分別して正しくリサイクルすれば資源になる、そのことを繰り返し周知・啓発する必要があるね!!



そうすれば、プラスチックごみだけでなく、生活で出てくる色々なごみもリサイクルする意識が芽生えて、きれいな奈良県をつくれます。



## 主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
プラスチックごみ対策の推進	環境イベント等を活用したごみ組成の調査、プラスチックごみの実態の周知啓発、事業者への指導・広報		
河川の美化対策	大和川一斉清掃、吉野川マナーアップキャンペーン、河川敷地の不法投棄の排除・撤去		
ポイ捨て、不法投棄の撲滅	「不法投棄ゼロ作戦」の推進、各種パトロールの実施、不法投棄ホットラインの運営		
きれいに暮らす奈良県スタイルの推進	河川清掃・植栽、マイバッグ運動等プラスチックごみ削減、監視パトロール、実践団体の表彰		



## (45) 馬見丘陵公園の整備

### これまでは

馬見丘陵公園(広陵町、河合町)は、かつて、全国都市緑化ならフェアの開催がありました。その開催をきっかけに、馬見丘陵公園を立派な公園にするべく、季節ごとの花のイベントをはじめ、質の高い花の公園を目指して力を注いできました。



馬見チューリップフェア  
(4月)88,900人(※)



馬見花菖蒲まつり  
(6月)20,100人(※)



馬見ひまわりウィーク  
(7月末~8月上旬)39,600人(※)



馬見フラワーフェスタ  
(10月)53,400人(※)



馬見クリスマスウィーク  
(12月)37,700人(※)

(※)各イベントの令和元年度来園者数を示す

### もっと良くするために

休憩施設や来園者のためのアメニティ環境、高齢者の方が運動できるような歩行環境、お出かけ環境を今後ともさらに整えていきます。

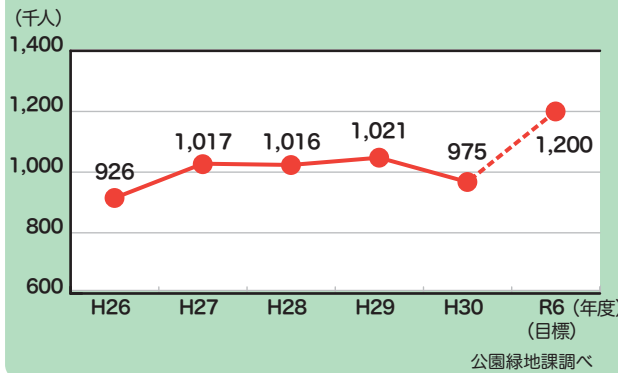
### 目指す姿

令和6年度までに馬見丘陵公園来園者数を年間120万人にします。

馬見丘陵公園の来園者数は年々増加しているんだ。お花は子供からお年寄りまで四季を通して楽しめるからね!



馬見丘陵公園来園者数



今後は公園に来てくれたみんながもっと快適に過ごせるよう、休憩所や電動カートの検討をするらしいです。お花を眺めながらゆっくり過ごせますね!



### 主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
やまと花ごよみイベントの開催	季節に応じた花をテーマとしたイベント(年間5回)の開催、住民協働花壇の設置等		
花街道の創出	池部駅から北エリアまでの区間における花街道の創出		
園内移動支援の検討	園内移動支援のための電動カートの導入および運行		
魅力向上のための植栽の充実	花壇の増設、チューリップ等の増株		



## (46) きれいな川辺づくり、遊歩環境の改善

### これまでは

水辺は、開放的な空間であるとともに、豊かな景観を構成する要素となっていることから、景観の維持・向上とともに、水辺に親しめる親水空間の整備が求められています。

雑草や雑木が生い茂っているなど、景観的な魅力が乏しい箇所がある。また、水辺に近づきにくい状況になっている。



河川堤防の雑草による景観阻害  
(大和高田市・高田川)

水辺は、身近な開放的空間であるとともに、安全・快適で、潤いのある豊かな景観を構成する要素であり、景観の維持・向上とともに、水辺に親しめる親水空間の形成が必要。



河川内の雑木による景観阻害  
(奈良市・秋篠川)

### もっと良くするために

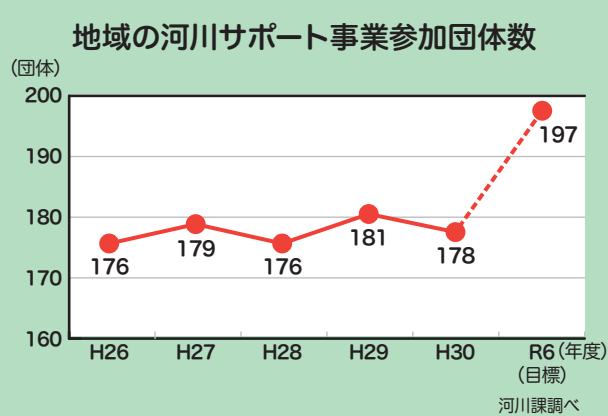
#### ■水辺に親しめる親水空間の整備をさらに進めます。

- ・ 河川沿いの観光施設や親水公園を周遊するため、堤防を遊歩道として整備します。
- ・ 奈良県植栽計画に基づき、親水施設や河川沿いに花壇等を整備します。
- ・ 地元自治会等が行う花の植栽活動、除草、清掃等の活動を支援します。
- ・ 護岸等修繕、除草、堆積土砂撤去を進めます。
- ・ 佐保川周辺のにぎわい創出を進めます。

### 目指す姿

令和6年度までに、地域の河川サポート事業の参加団体を197団体にします。

より良い河川空間を創出することを目的として、県が管理している河川で、花の植栽、除草、清掃等の活動を行っている団体に対し、報償金の支給や保険の加入等で活動を支援してくれるんだって!



活動内容にあった3つのプログラムがあって、地域の皆さんによる川づくりをサポートしてくれるんですよ。よし、みんなで川をきれいにしましょう!



### 主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
遊歩道の整備	水辺に親しむ空間として堤防天端に遊歩道の整備		
奈良県植栽計画(なら四季彩の庭づくり)の推進	奈良県植栽計画に基づく、親水施設や河川沿いの花壇等の整備		
地元自治会等が行う活動を支援(地域の河川サポート事業)	参加団体の増加に向けた働きかけ、PR活動等を実施		
佐保川周辺のにぎわい創出	コンサート、展示、佐保川まちづくり塾、マルシェ等開催		



# (47) 道路の無電柱化

## これまでは

奈良県の無電柱化率は全国的に決して高くはありません。



これまでに県管理道路の約14 km(道路延長)の無電柱化を実施してきました。【H30末時点】  
県管理道路のうち約0.7%に留まっている状況です。



しかし、無電柱化の努力を続けています。

【対策前】



【対策後】



写真例:主要地方道奈良生駒線(大宮通り)(奈良市)

## もっと良くするために

- 『奈良県無電柱化推進計画』に基づき、**無電柱化を強力に進めます。**
- 無電柱化計画における無電柱化重点対象道路
  - ・ 防災・・・緊急輸送道路、避難路
  - ・ 景観形成・観光振興・・・世界遺産や歴史・文化的風土形成地域
  - ・ 県と市町村とのまちづくり・・・県市町村がまちづくり上、必要性について合意した地域

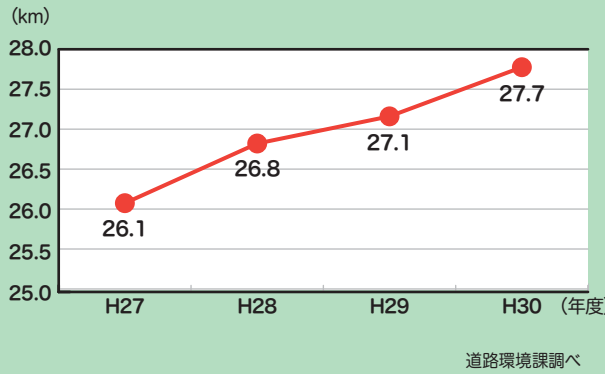
## 目指す姿

令和元年10月から**今後5カ年**で県管理道路の約19 kmの無電柱化の事業に着手(事業中の箇所を含む)します。

無電柱化の事業に着手し、県が電線共同溝を整備することで、はじめて電線管理者が、電柱を撤去することができるんだね!



### 電線共同溝の整備延長



そのとおり!無電柱化の実現には、県だけでなく電線管理者と連携して事業を進める必要があります。



## 主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
無電柱化事業の実施	低コスト手法など新技術の積極的活用		
関係者間の連携の強化	県と市町村とのまちづくり連携協定		
広報・啓発活動	勉強会の開催、パンフレットの配布		
無電柱化情報の共有	無電柱化に関する情報収集、国や他の地方公共団体との共有		





植栽整備による景観づくり(奈良市水上池)



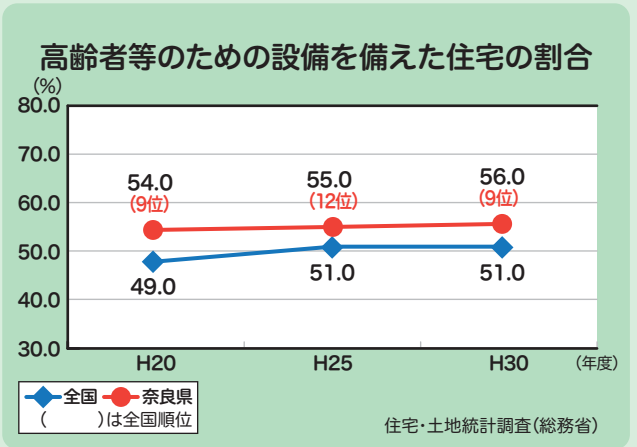
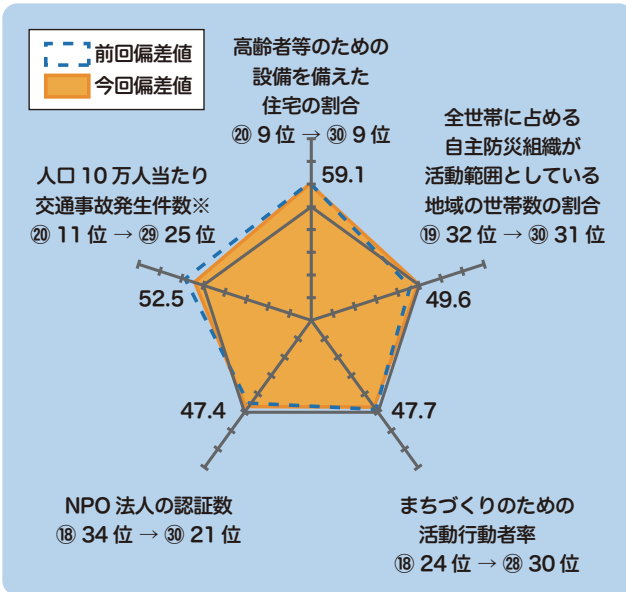
馬見チューリップフェア(馬見丘陵公園)



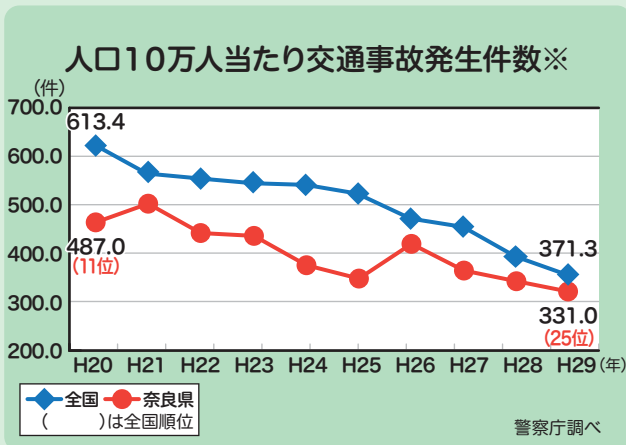
吉野川マナーアップキャンペーン(吉野川)



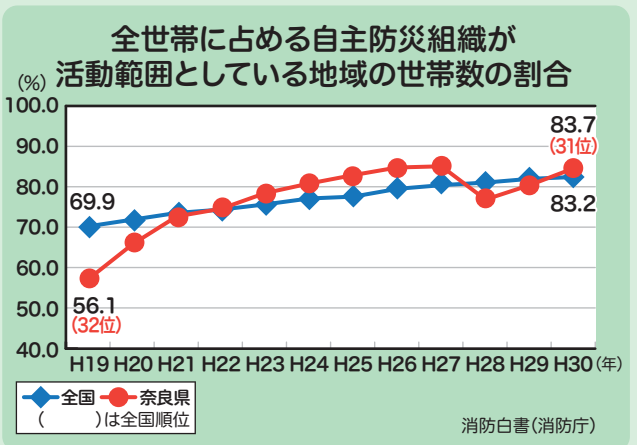
## 8. 暮らしやすいまちづくり



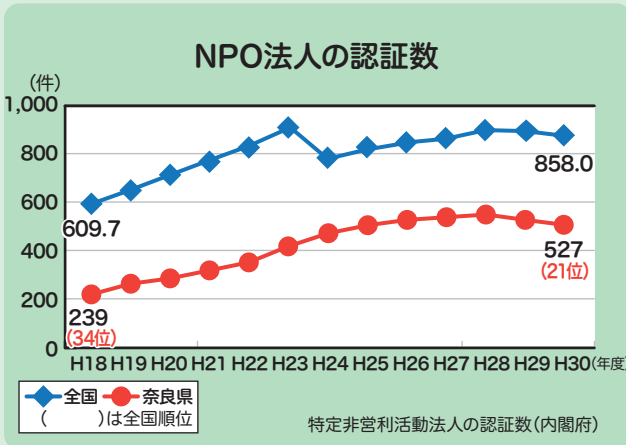
高齢者等のための設備を備えた住宅の割合は、全国平均の5ポイント程度上を推移しており、平成25年度からは5年で1.0ポイント上昇しています。



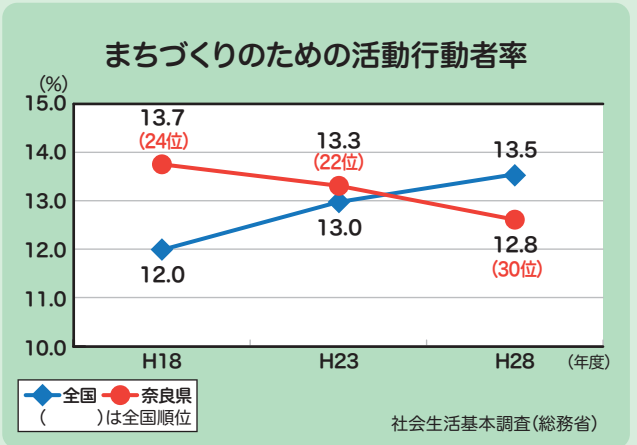
人口10万人当たり交通事故発生件数は、概ね減少傾向にあり、全国平均と比べても少なくなっています。



全世帯に占める自主防災組織が活動範囲としている地域の世帯数の割合は、平成28年に低下したものの、その後は上昇しており、平成30年に全国平均を上回りました。



NPO法人の認証数は、平成18年度から大幅に増加しているものの、全国平均と比べると依然として低い水準となっています。



まちづくりのための活動行動者率は、平成23年度と比較して0.5ポイント低下しており、全国平均を下回っています。

※は数値が低い方が良くなる指標です。



# (48) 土地利用基本計画・都市計画区域マスタープランの改定

## これまでは



都市地域だけでなく、農業・森林・自然環境・自然保全の各地域にも、土地利用に関する様々な課題が出てきた。

土地利用の課題を解決する「新たな土地利用の仕組み」が必要。

## もっと良くするために

- 土地利用に関する懇談会にて課題解決方針を検討し「新たな土地利用の仕組み」を構築します。
  - ・土地利用基本計画…個別計画間の総合調整機能を確立
  - ・都市計画区域マスタープラン…「新たな土地利用の仕組み」に基づき個別計画を実施

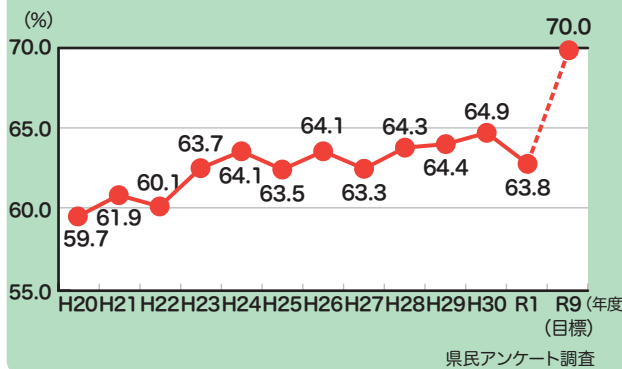
## 目指す姿

令和9年度までに県民アンケート調査における奈良県を「住みやすい」と感じている県民の割合を70%にします。

歴史的街並みや豊かな田園風景の広がる奈良県でも、土地利用に関する課題があるんだね。



### 「住みやすい」と感じている県民の割合



そうですね。でもこれからは、土地利用に関する課題を解決できるような仕組みを考えて、それに基づいた計画を実行していきますよ。



## 主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
土地利用基本計画等	懇談会の設置・開催	土地利用調整の仕組みを構築、土地利用基本計画の策定	
都市計画区域マスタープラン	マスタープラン法定手続き ガイドラインの改定等		区域区分の変更検討・国との協議・都市計画法定手続き





## (49) 奈良県のすまい方改善

### これまでは

住宅地の劣化が各地で見られ、住宅地のリニューアルが必要となってきました。これまで県営住宅を中心にリニューアルをしてきました。

- ・ 民間郊外住宅地に関し、空家の利活用・除却、リフォーム促進等に関し、技術的助言や情報提供等の支援。
- ・ 住宅セーフティネットの核となる県営住宅の更新及び周辺のまちづくりに着手。
- ・ 県営住宅の管理に民間活力を導入(指定管理者制度)。管理の質・稼働率の向上を推進。



桜井県営住宅(1期)の建替

### もっと良くするために

民間サービスの活用による住まい・暮らし支援の枠組みの検討を進めます。

高齢者への生活支援、住宅地の陳腐化対策(世代の代謝)について下記の検討を進める。

- ・ 福祉機能・商業機能の提供(地区レベルで一定の生活機能の確保)
- ・ 民間事業者による見守り支援・買い物支援の取組展開
- ・ 「より高い利便性を有する場所での暮らし」の選択肢を提供(高齢者等を拒まない民間賃貸住宅・サ高住の普及促進)
- ・ 子育て・若者世代への「身近な職」「身近な生活サービスの提供」
- ・ 若者の住み替え支援(住宅ストックの継承、空き家流通促進)
- ・ 県営住宅の更新、民間活力導入による周辺まちづくり

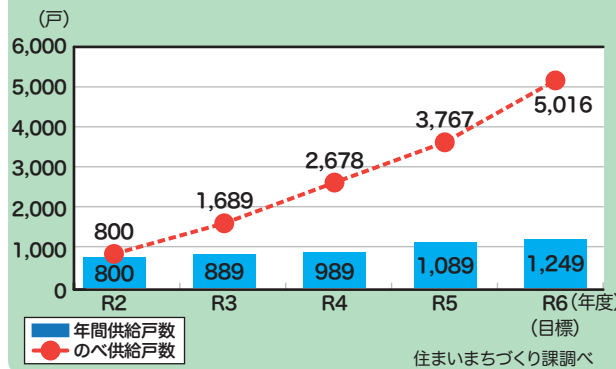
### 目指す姿

令和6年度までにセーフティネット住宅の県内のべ総供給戸数を5,000戸/5年にします。

誰もが安心して暮らせる住まいを確保するために、セーフティネット住宅の供給数を増やすことは大切だね。



### セーフティネット住宅のべ総供給戸数



そのために、県と市町村が公営住宅の整備をしたり、民間賃貸の空き家を活用し、セーフティネット住宅の供給数を確保していく必要があります。



### 主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
桜井県営住宅の建替整備(近鉄大福駅周辺地区まちづくり)	第1期建築工事	第2期建築実施設計 除却工事	文化財調査 第2期造成工事
住生活基本計画・県民生活ビジョン等の見直し	長寿命化計画の更新	住生活基本計画の更新	県民生活ビジョンの更新
居住支援協議会の活用	居住支援に対するニーズ把握、福祉団体等との連携 セーフティネット住宅へ民間賃貸住宅の登録の促進に向けたPR		



# (50) 移動目的に応じた便利向上のための交通サービスの確保

## これまでは

奈良県民の移動手段は、大阪までの通勤には便利でしたが、域内の移動は不便なままです。

- ・公共交通の結節性が悪かったバスターミナルや鉄道駅等を整備することで、乗り換え等が便利になります。
- ・田原本町では、田原本駅と西田原本駅を結ぶ場所にロータリーを整備したことで、鉄道と自家用車、私鉄バスの乗り換えが便利になりました。
- ・大和高田市では、市民交流センターの前にコミュニティバスの乗継拠点としてバス停を整備したことで、コミュニティバスの乗り継ぎが便利になりました。



田原本駅前ロータリー(田原本町)

## もっと良くするために

移動目的にかなう交通サービスの確保に努めます。

- ①市町村と協働・連携のもと、移動需要を把握し、提供できる移動手段について検討・実施します。
  - ・コミュニティバスの路線やダイヤの見直し
  - ・コミュニティバスと路線バスなどの接続強化
  - ・買い物送迎バスなどの施設バスと連携した新たな移動手段
- ②コミュニティタクシー、Ma a Sや自動運転など新たな技術を活用した交通サービスについて調査・検討します。

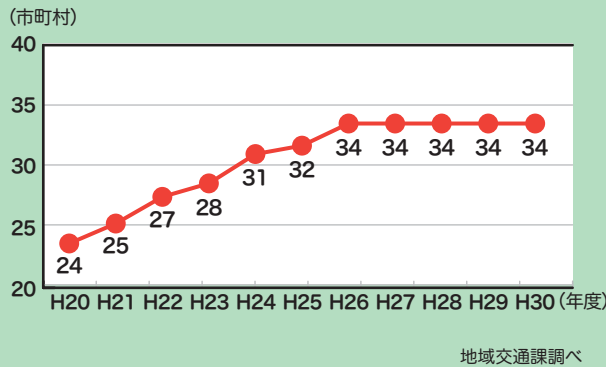
## 目指す姿

域内での移動が便利なるように、市町村と協働して移動手段の確保について検討します。

最近、市町村が運行しているコミュニティバスやコミュニティタクシーを良く見かけるようになったよね。



### コミュニティバス・デマンド交通導入市町村数



よく気づいたね！市町村と協働して、路線バスやコミュニティバス等の移動環境を改善しているんです。



## 主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
県内バス路線網の見直し	公共交通基本計画等の改定	地域交通改善協議会の開催	
コミュニティバスの充実・コミュニティタクシーの検討	コミュニティタクシー等導入に向けた調査・検討	調査・検討を踏まえたコミュニティタクシーモデル事業等の実施	





# (51) 自転車の安全な利用促進、駐輪場の整備

## これまでは

自転車の利用に係る交通事故の防止及び被害者の保護を図るため、令和元年10月に「奈良県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」を公布しました。

- ・交通安全教育の実施
  - ・自転車所有者等の保険加入義務化
  - ・高齢者のヘルメット着用努力義務化
- } 令和2年4月1日施行

## もっと良くするために

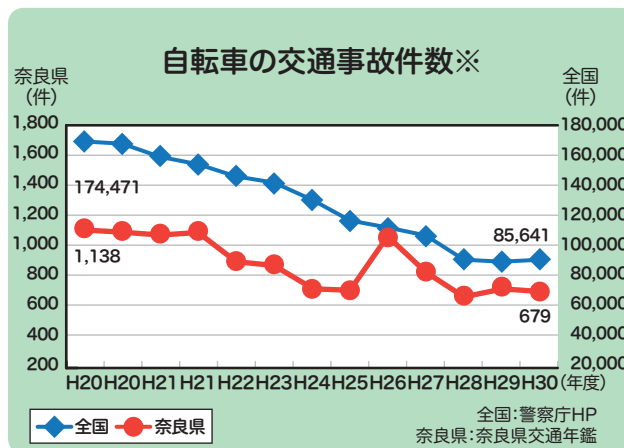
令和2年4月1日から「自転車所有者等の保険加入義務化」、「高齢者のヘルメット着用努力義務化」が施行されます。

- ・条例の普及と定着に向けて、教育機関等への指導者用テキストの配布、事業所や県民向け広報、幼稚園等における自転車交通安全教育を行います。
- ・県が保有する全ての公用自転車(120台)は、自転車損害賠償責任保険へ加入します。
- ・駐輪場の整備を市町村等へ働きかけます。

## 目指す姿

令和4年度までに自転車損害賠償責任保険への加入率を70%以上にします。

自転車の安全利用について、総合的に施策が実現できるよう、新しい条例ができたんだよね。



※は数値が低い方が良くなる指標です。

交通事故防止と被害者保護のため、条例は絵に描いた餅で終わらせることなく、普及と定着が必要です。



## 主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
自転車損害賠償責任保険への加入促進	連携協定の追加募集と締結保険会社と協働した加入促進	連携協定の延長と締結保険会社と協働した加入促進	
条例の普及と定着に向けた周知・広報	街頭啓発、ポスター掲示 リーフレットの作成・配布	リーフレットの作成・配布	
自転車交通安全教育等	小学校・中学校等での自転車交通安全教育の推進		
自転車損害賠償責任保険加入率の調査	加入率を把握するためのアンケート調査の実施		



## (52) 自治会等との連携協力強化

### これまで

- 自治会の活動は、地域にとって有意義で大事なのですが、県の行政とあまり接点はありませんでした。
- 県全体の自治連合会への参加市町村は一部(17市町村)にとどまっていますが、新たな自治連合会への参加の呼びかけで奈良市が加入しました。



県自治連合会加入市町村

令和元年5月31日奈良市自治連合会が新たに加入(18番目)

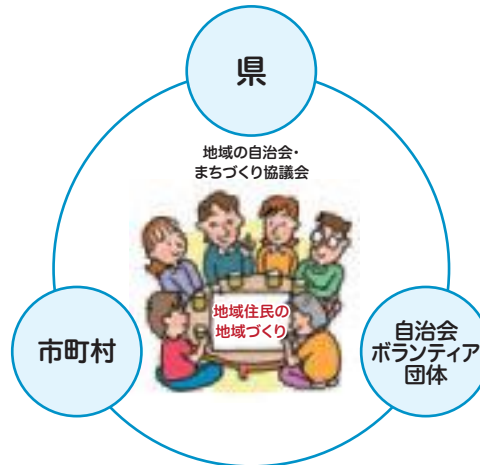
### もっと良くするために

- 県から自治会に直接アクセスして、地域の課題解決、地域の防犯・防災についての必要な情報等を積極的に提供します。
- 奈良県自治連合会の具体的業務を通じた連携・支援を促進します。
- 市町村の「まちづくり協議会」等を応援します。
- 安全・安心まちづくりアドバイザーの派遣、地域の自主防災訓練を支援します。

### 目指す姿

住民、行政、自治会、その他NPOが協力して、コミュニティ活動を活発にすると共に、地域課題をできる限り自分たちで解決し、自分たちの街を良くしていきます。

これまで、自治会の活動と、県の行政との関わりはあまりなかったみたいだけれど、今後はどうなっていくのかな？



例えば、防災等の地域の課題解決には、自治会の活動が欠かせないんです。ですから、県・市町村・自治会が連携協力を強化することで、地域の防災力を高めたり、広域的かつそれぞれの地域にあった共助の取組を進めていきます。



### 主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
県・市町村・自治会との連携強化	県の自治連合会への参加の呼びかけ 市町村・自治会が行う防災訓練の支援		
地域活動に貢献している組織との連携強化	ボランティア団体、NPOとの連携強化		